

市介護相談員を委嘱

市は本年度から、介護サービス利用者の苦情や不満などを聞き、問題解決に向けた手助けをする介護相談員を設置し、1月5日付で2人の市民に委嘱しました。委嘱されたのは、鈴木ヒサコさん（前沢区）と千田和子さん（胆沢区）。施設を巡回しながら、サービス利用者との相談活動などを行います。

介護利用者の声を聞く

介護相談員とは、介護サービスの利用者からサービスに関する苦情や不満などを聞き、サービス提供者や行政との橋渡し役となつて、問題解決への手助け

をするボランティアです。

介護相談員は、利用者から申し出のあったサービス事業所などを訪ね、利用者の疑問や不満、不安の解消を図ります。またサービス提供などに関して気づいたことや提案を事業所の管理者らに伝え、サービスの質的な向上を支援します。ときには、相談者の信頼できる話し相手となり、相談者が安心感を取り戻せる場合もあります。介護相談員は市が委嘱するもので、個人情報などプライバシーについても守秘義務があります。安心してご相談ください。

この事業は、合併前から胆沢区と衣川区が自宅訪問によつて

実施していましたが、本年度から全市を対象に拡大した上で、施設訪問に切り替えて実施することになりました。

■問い合わせ 本庁長寿社会課 高齢者福祉係（内線2308）



岩井憲男副市長から委嘱状を受け取る2人

Interview

支え合いを手助け

鈴木ヒサコさん（65）
前沢区字下小路



旧前沢町職員や両親の介護などの経験を相談業務に生かしたいと思います。介護を受けている人や関係している人たちの声をもっと中央に届けるとともに、介護保険制度で手の届かない部分を補い、住民一人一人が地域の支え合いを大切にできるよう手助けをしていきたいと考えています。

やすらげる施設に

千田和子さん（57）
胆沢区南都田字谷地中



胆沢町役場を退職後、旧胆沢町より介護相談員の委嘱を受け、母の介護の余裕時間を利用して、利用者宅と事業所などの訪問を行いました。再び介護相談員の委嘱を受け、利用者が安心して過ごすことができ、地域の中でやすらげる施設になるよう私もお手伝いしたいと思います。

あなたの人権を守る 人権擁護委員制度

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱し、基本的人権に関する啓発や、人権侵害などの調査や救済のための活動は無報酬で行います。各総合支所や法務局で、人権に関する相談も毎月行っています。

市内を担当する委員として、1月1日付で高橋イマ子さんをはじめ4人が再任されました。任期は3年です。

人権相談など詳しくは、広報おしゅうお知らせ版「各種相談」コーナーをご覧ください。



高橋イマ子さん（66）
水沢区真城が丘二丁目
☎2487805



佐藤 司さん（73）
前沢区白山字松ケ林
☎54441



石川松一郎さん（70）
前沢区字七日町
☎55226



安倍希一さん（72）
胆沢区若柳字堰袋
☎463849

■問い合わせ＝本庁市民課総合相談室（内線126）

市の出来事から

新年とともにめでたく満100歳

市は、1月に満100歳を迎えたお年寄り4人に記念品を贈りました。相原正明市長や原田守水沢区長らが自宅などに駆け付け、長寿を祝いました。

菊地カツミさん（1月5日）
河字横枕Ⅱは、17歳で故・孝平さんと結婚し、農業を営みながら6男2女を育てました。今ではひ孫23人、やしゃご3人にも

恵まれ、誕生日にはにぎやかに祝賀会が開かれました。大きな病気もなく、天気が良ければ草取りをするほど元気です。

香澤キニさん（1月31日）
は盛岡市出身。秀衡塗の職人だった故・兵吉さんと結婚し、7男4女に恵まれました。現在は介護老人保健施設に入所しています。施設で仲良しの友人から花束を手渡されると、感極まった様子で喜んでいました。

八巻はな子さん（1月21日）
八巻はな子さんは水沢区上姉体二丁目Ⅱは藤沢町出身で、夫を亡くしてから水沢区内の長男夫婦と同居。きつぷがよい、明るい性格だったそうです。現在は眠って過ごすことが多く、特別養護老人ホームで穏やかな毎日を送っています。



香澤キニさん（1月7日）



菊地カツミさん（1月5日）



菊地タカさん（1月31日）



八巻はな子さん（1月21日）

菊地タカさん（胆沢区若柳字下田中Ⅱは、夫の故・市之助さんと農業を営みながら、男ばかり5人の子を育てました。耳が遠くなった以外は病気知らず。デイサービスや日課の新聞読みを楽しみに、やしゃごら家族6人に囲まれて暮らしています。

子育て支援優良企業に2社を表彰



相原市長から表彰状を受け取る菊地文行工場長（中央）と及川理事長

平成20年度の子育て支援優良企業が決まりました。この制度は、市が仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業や団体を表彰することで、子育てをしやすい社会環境づくりを進めようと19年度から始めたものです。昨年の2社に続き、本年度は（株）日立メディアエレクトロニクス水沢工場（黒田重雄社長）と水沢信用金庫（及川富美理事長）が栄誉に輝きました。

受賞した2社には、1月5日に行われた市民新年交賀会の席上で、相原正明市長から表彰状が贈られました。

（株）日立メディアエレクトロニクス水沢工場

水沢区真城字北野

育児・介護休業法に準じた規定を整備し、過去3年間の対象女性社員の育児休業取得率は100%。社内LANによるホームページを活用し、出産や育児に関する制度の周知、育児に対する職場環境の醸成に取り組んでいる。不妊治療休職や哺育時間など独自の制度や、相談できる場を設置するなどサポート体制を強化している。

水沢信用金庫

水沢区字日高西

育児・介護休業法に準じた規定の整備のほか、平成14年に「母性健康管理規程」を、17年に「育児・介護休業規程」を定め、早くから独自の取り組みを進めている。特に妊産婦には、通院時間や通勤緩和策として時差出勤を認め、さらに母性健康管理指導に基づき、業務内容の軽減、勤務時間の短縮、休業などで健康管理に配慮している。